

土木用品質・出来ばえ対応表

(土木・検査員用)

品質4C	出来ばえ4C	工 事	適用工種
001	001	舗装・改良工事	土工、路盤・舗装・植生・植栽、照明、標識、区画線、防護柵、コンクリート、製品・構造物
002	002	河川・水路工事	土工、コンクリート、製品・構造物、杭基礎、土留め工等
003	003	植栽・造園工事	土工、施設・構造物、植生・植栽、コンクリート、製品、路盤・舗装
004	004	造成等工事	土工、コンクリート、製品、路盤等
005	005	農地造成等工事	面工事、パドック、障害物
006	006	橋梁工事	土工、植生、コンクリート、製品・構造物、杭基礎、工場製作、架設、路盤・舗装、区画線、照明、標識
007	007	塗装・標識・区画線等工事	塗装、区画線、標識、防護柵、グルーピング、照明
008	008	道路改良・法面・林道工事	土工、植生、法枠工、モルタル吹き付け、路盤等
009	009	維持修繕工事	土工、路盤、舗装、水路等
010	010	土木＝機械・電気・通信設備工事	土工、路盤、舗装、コンクリート、製品、機械、電気、通信
011	011	土木＝水道工事	土工、路盤、舗装、コンクリート、製品、配管、土留め工等
012	012	舗装・改良・RH工事	土工、路盤・舗装・植生・植栽、照明、標識、区画線、防護柵、コンクリート、製品・構造物、ロードヒーティング
013	013	土木＝下水道工事	土工、路盤、舗装、コンクリート、製品、管布設、土留め工等

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。											
審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ	舗装・改良工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）									
		該当	評価	「評価対象項目」 【土工、植栽等関係】 施工基面が平滑に仕上がっている。 掘削に際して、掘削面以下を乱さないように施工している。 掘削に際して、地形、地質、状況に応じて安全な施工がなされている。 締固めを適切な施工条件で施工している。 土質にあった締固め密度管理を行っている。 土留め等が適切に行われ、周辺地盤への影響がみられない。 法面に有害なクラックや損傷部がない。 段切りなどが施工前に適切に行われている。 構造物周辺の締固め等の処理が適正に行われている。 既設構造物や舗装面等に損傷のあとがない。 植生材料が施工面に凹凸なく施工され密着されている。 植栽用客土は土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施している。 植栽、余剰枝の剪定、整姿その他必要な手入れがなされている。 植栽、植生等の材料の品質証明書が整備されている。 植栽、植生の材料に枯れ損傷がなく、健全で活着管理がなされている。 上記以外の項目（単位体積重量試験などが的確に行われている。） 【照明、標識、区画線、防護柵関係】 機器の取り付け、配線等の接続、仕上がりが良い。 基礎、地中配線等の深さ、間隔、配置も適切に行われている。 照明、配電盤類の動作試験が行われ、正常に機能している。 盤内機器等の性能検査表が整備され、配電盤類の関係基準に基づき各種試験が行われている。 材料、部品の品質及び形状が確認でき、品質証明書が整備されている。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下である。 防護柵、標識等の材料、製品、部品の品質証明書が整備されている。 道路標識ハンドブック、防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準等の規程に従い適切に施工され、規格値を満足している。 裏込め、埋め戻し材も適切で締め固めも十分で、空隙が生じていない。 上記以外の項目（ ） 【コンクリート、構造物等関係】 供試体が当該現場の供試体であることを確認できる。 コンクリートの配合試験が行われ、規格（強度、スランプ等）確認できる。 打設時に必要な供試体を採取し、空気量、スランプ等が確認できる。 コンクリート打設、パイプレーター、現場養生が適切に行われている。 型枠、支保工の取り外しのコンクリート強度を適切に管理されている。 鉄筋の組み立て、加工、溶接等が適切であることを確認できる。 製品、部材に損傷がみられない。 製品のかみ合わせも適切で、関係構造物等との取り合いもよい。 敷きモルタル、敷き砂、吸い出し防止剤等が適切に行われ、沈下等が見られず仕上がりが良い。 モルタルなどの接合材も適切に行われている。 連結部の止水シール、リング等が適切に使用され、仕上がりが良い。 マンホール等と接合される管などは、屈曲、沈下、ズレが生じていない。 マンホール等の位置、方向等が適正で、蓋類にガタツキもなく、仕上がりが良い。 構造物に土砂、モルタル、アスファルト、材料等の断片がなく清掃されている。 製品、材料等の品質証明書が整備されている。 裏込め、埋め戻し材も適切で締め固めも良く、空隙を生じていない。 上記以外の項目（ ）						評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。											
調査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価率)から判断する。(判断基準参照)									
品質	河川・水路 工事	該当	評価	「評価対象項目」						評価	評価
				<p>【土工路盤・舗装関係】</p> <p>施工基面が平滑に仕上がっていることが確認できる。</p> <p>盛土・掘削工は地形・地質・状況・気象等の条件に応じて安全な施工がなされていることが確認できる。</p> <p>掘削・床掘・仕上がり面は地山を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>盛土は締め固めが十分に地山・地盤と一体性が確保されていることが確認できる。</p> <p>締め固めを適切な施工方法で行っていることが確認できる。</p> <p>構造物周辺の締め固め等の処理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>法面、段切りが適切に行われ、有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。</p> <p>土留め方法や推進時の掘削方法等で周辺地盤への影響がないことが確認できる。</p> <p>杭に損傷及び補修痕がないことが確認できる。</p> <p>杭の打ち止め管理方法、場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、記録が確認できる。</p> <p>水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。</p> <p>溶接は仕様書に定められた品質管理が行われていることが確認できる。</p> <p>現場円周溶接の目違いが許容値に対して余裕があり、ばらつきも少ないことが確認できる。</p> <p>ライナープレートの組立て偏心、歪みが少なくなるように配慮していることが確認できる。</p> <p>掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動や安定液を使用する時の安定濃度、比重が適切に管理されていることが確認できる。</p> <p>裏込め材注入圧力は、低圧で施工していること等が、施工記録により確認できる。</p> <p>植生材料が施工面に凹凸なく施工され、活着管理等がされていることが確認できる。</p> <p>植生材料等の品質証明書が整備され、品質配合も適切に行われていることが確認できる。</p> <p>路床の密度、支持力の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>凍上抑制層の密度管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>下層路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>歩道路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>混合物の配合設計、試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。</p> <p>混合物の温度管理が、出荷時、到着時、舗設時等で整理記録していることが確認できる。</p> <p>各層の継ぎ目処理が仕様書に定められている数値以上ずらして行っていることが確認できる。</p> <p>舗装後、直ちに供用をする現場では適切に交通開放を行っていることが確認できる。</p> <p>気象条件に適した混合物の運搬法、舗設作業の配慮が行われていることが確認できる。</p> <p>上記以外の項目 ()</p> <p>上記以外の項目 ()</p> <p>上記以外の項目 ()</p>							
				【コンクリート等製品関係】							
				打設時に必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。							
				コンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。							
				コンクリートの配合試験及び試験練りが行われ、規格(強度・スランプ等)が確認できる。							
				コンクリート打継目部処理が仕様書等の規程に従い実施されていることが確認できる。							
				コンクリート打設、パイプレーター、養生が適切に行われていることが確認できる。							
				鉄筋の規格がミルシートで確認できる。							
				鉄筋の組み立て、加工、圧接作業が適切であることが確認できる。							
				コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。							
				圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。							
				スパーサーの材質が適正で、鉄筋のかぶりも確保されていることが確認できる。							
				型枠、支保工の取り外しのコンクリート強度を適切に管理されていることが確認できる。							
				材料等の品質証明書が整備され、適切に管理されていることが確認できる。							
				上記以外の項目 ()							
				上記以外の項目 ()							

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。		審査項目					（土木・検査員用）					
審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e				
3. 出来形及び出来ばえ	植栽・造園 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）										
		該当	評価	「評価対象項目」 【植栽、植生関係】 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切に行われていることが確認できる。 樹木等の生育に害のあるものは取り除かれていることが確認できる。 余剰枝の剪定、整姿その他必要な手入れをしていることが確認できる。 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されていることが確認できる。 植栽用客土等は土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施していることが確認できる。 樹種や用途に応じた土壌硬度で適切に施工していることが確認できる。 植生材料が施工面に凹凸なく施工され密着されていることが確認できる。 植栽、植生材料に枯損がなく健全であることが確認できる。 吹き付け芝の品質配合が適正で、均等に施工管理されていることが確認できる。 植栽、植生、土壌改良剤は適切に施工され、養生・活着管理をしていることが確認できる。 植栽、植生、土壌改良剤等は品質証明書が整備されていることが確認できる。 上記以外の項目（ ）				評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
. 品質	植栽・造園 工事	【土木・施設構造物関係】 製品、部品等の品質及び形状が適正と確認でき、品質証明書も整備されていることが確認できる。 製品、部材等に損傷が見えないことが確認できる。 接続、接合、かみ合わせ等も適切に行われていることが確認できる。 目地砂、モルタル、伸縮防止材等も適切に行われていることが確認できる。 敷きモルタル、敷き砂、吸い出し防止材などが適切に行われ、沈下等が見られず仕上がりが良いことが確認できる。 基礎等の深さ、間隔が適切に行われていることが確認できる。 電気等（照明等）設備の作動試験が行われ、正常に機能していることが確認できる。 機械等（上下水道等）設備の作動試験が行われ、正常に機能していることが確認できる。 サービス施設（ベンチ等）、建築施設等（四阿等）が適正と確認でき、品質証明書等が整備されていることが確認できる。 遊戯施設の機能、安全性が適正と確認でき、品質証明書等が整備されていることが確認できる。 ネット類、支柱・杭などは規定に従い規格値を満たして適切に行われていることが確認できる。 競技施設（コース標識、カップ、スタート台等）は規程に従い、規格値を満たし適切に行われていることが確認できる。 案内標識類や柵、区画線なども各規程に従い、規格値を満たし適切に行われていることが確認できる。 切盛土が適切性が確認でき、締め固めも適切に行われていることが確認できる。 掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 透水性の効果が確認できる。 水密性、防水性等が確認できる。 裏込め、埋め戻し材が適切で、構造物及び周辺の締め固めも十分に行われていることが確認できる。 有孔管、透水管類、フィルター材が適切に施工されていることが確認できる。 暗渠管内に土砂等が入らないように施工していることが確認できる。 暗渠管類の接続も適切で、管のズレや疎水材等に土砂の混入がないことが確認できる。 管等の底部に凹凸や蛇行がなく流れも停滞しないことが確認できる。 上記以外の項目（ ）							評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		【コンクリート・構造物・舗装・その他】 型枠、支保工の取り外しのコウクリート強度を適切に管理していることが確認できる。 コンクリートの配合試験が行われ、規格（強度、スランプ等）が確認できる。 コンクリート打設、バイブレーター、現場養生が適切に行われていることが確認できる。 スペーサーの材質が適正で、鉄筋のピッチ・かぶりも確保されていることが確認できる。 路床の密度、支持力の管理が適切に行われていることが確認できる。 凍上抑制層の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 下層路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 歩道路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 クレー舗装等の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 人工芝等の接合、接着等が適切に行われ、段差、波打ち等がなく適正に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 充填材の散布量も適切でムラなく行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 充填材（砂など）、接着剤が仕様書に基づき適切に行われていることが確認できる。							評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

（土木・検査員用）

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	造成等 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						
		該当	評価	「評価対象項目」 【土工関係】 掘削を行うに当たり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 締め固めを適切な施工条件で施工していることが確認できる。 構造物周辺の締め固め等の処理が適正に行われていることが確認できる。 盛土工は締め固めが十分に地山・地盤と一体性が確保されていることが確認できる。 土質にあった締め固め密度管理を行っていることが確認できる。 法面、段切りが適切に行われ、有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。 土羽土の土質が適正であることが確認できる。 切盛土に際して、適切に伐開除根をしていることが確認できる。 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 関係構造物周辺の処理が適切に行われていることが確認できる。 植栽、植生用客土等は土壌硬度試験、及び土壌試験（PH）を行っていることが確認できる。 植生材料等は枯損がなく健全で、活着管理、養生等がされていることが確認できる。 植生工に凹凸なく施工され密着されていることが確認できる。 吹き付け芝の品質配合が適正で均等に施工されていることが確認できる。 植生材料、土壌改良剤等の品質証明書が整備され適切に施工されていることが確認できる。 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われていることが確認できる。 杭に損傷、補修痕がないことが確認できる。 雨水による崩壊がおこらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 杭類の打ち留め管理方法、施工管理が整備記録され確認できる。 水平度、鉛直度、安全度が確認できる。 溶接は仕様書で定められた品質管理が行われていることが確認できる。 現場円周溶接の目違いが許容値に対して余裕があり、ばらつきも少ないことが確認できる。 ライナープレートの組立で偏心、歪みが少なくなるように配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 推進工等では裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。 設計図書に定められた土止め方法や水替えが適切に行われていることが確認できる。 掘削深度、排出土砂、孔内排水水位などが適切に管理されていることが確認できる。 【構造物、製品、コンクリート等関係】 埋め戻し、裏込め材が適切で締め固めも良く、空隙も生じていないことが確認できる。 裏込め材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。 直線部、端部、曲線部の処理、強度、水密性等が適切に行われていることが確認できる。 接続、仕上がりが良好で、深さや間隔、配置も適切に行われていることが確認できる。 製品のかみ合わせ、接続、連結等が適切に行われていることが確認できる。 製品等に損傷がないことが確認できる。 砂目地も適切で沈下、不揃いがみられないことが確認できる。 敷き砂、モルタル、吸い出し防止材等が適切に行われていることが確認できる。 目地モルタルや伸縮防止材が適切に行われていることが確認できる。 集水樹等連結部シール、リング等が適切に使用され仕上がりも良いことが確認できる。 シート類が適切に行われ、ゆがみ、波打ちなどがみられないことが確認できる。 シート類の重ね合わせ、接合、接着、端部処理も適正に行われていることが確認できる。 水密性、防水性、遮水性等が確認できる。 打設に必要な供試体を採取し強度、スラフ、空気量等が確認できる。 コンクリートの配合試験及び試験練りが行われ強度、水セメント比、最大骨材粒径等が確認できる。 コンクリート打継ぎ目部処理が仕様書の規程に従い実施されていることが確認できる。			評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。

【記入方法】 該当する項目に 1 を入れる。

審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	造成等 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						
		該当	評価	「評価対象項目」 【土工関係】 コンクリートの打設、現場養生、バイブレータ等が適切に行われていることが確認できる。 コンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 直線部、端部、曲線部の処理、強度、水密性等が適切に行われていることが確認できる。 鉄筋の規格がミルトで確認できる。 鉄筋組み立て、加工、圧接作業が適切であることが確認できる。 コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいることが確認できる。 スペースを適切に配置し鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 型枠・支保工の取り外しのコンクリート強度を適切に管理していることが確認できる。 水抜き等の配置もよく適切に行われていることが確認できる。 有孔管、透水管、フィルター材等が適正に施行され機能が確認できる。 カゴ類の規格も適正で、組み合わせも適切に行われていることが確認できる。 中詰め材の規格も満足し仕様書に基づいて行われていることが確認できる。 暗渠類の接続も適切で管のズレや疎水材等に土砂の混入がみられないことが確認できる。 暗渠類の敷設が適切で、凹凸や蛇行がなく流れも停滞しないことが確認できる。 電気、照明、機械、上下水道設備の作動試験等も行われ正常に機能していることが確認できる。 遊戯施設類の安全性、機能性が確認でき、品質証明が整備されていることが確認できる。 サービス施設、四阿、水飲み場等が適正と確認でき、品質証明も整備されていることが確認できる。 製作上の補修傷跡がないことが確認できる。 柵、フェンス、標識等は設置基準等に基づいて施工し、規格値を満たしていることが確認できる。 柵、フェンス、標識等の部品、材料等の品質規格形状の適切性が確認できる。 柵、フェンス、標識等は適切に接合、接着されていることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 【路床・路盤関係】 路床の施工に先立ち、土質、湧水等の現地状況を適切に調査していることが確認できる。 路床・路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 路床の密度、支持力の管理が適切に行われていることが確認できる。 歩道路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 凍上抑制層の密度管理が適切に行われていることが確認できる。 下層路盤工密度管理が適切に行われていることが確認できる。 混合物の温度管理が出荷時、現場到着時、舗設時等で整理記録されていることが確認できる。 混合物の配合設計、試験練りが行われ適切な混合物の規格が確認できる。 着色、脱色、クレー舗装等の材料、配合が適切に行われていることが確認できる。 乳剤、養生砂が適切に行われていることが確認できる。 舗装の各層継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらして行っていることが確認できる。 人工芝類の接合が適切で段差や波打がないことが確認できる。 充填材の散布量も適正でムラなく行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 充填材（砂など）、接着剤が仕様書に基づき適正に行われていることが確認できる。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が 10% 以下であることが確認できる。 道路標識、視線誘導標等の規定に従い適切に施工し規格値を満足していることが確認できる。 各種競技等で定められた試験が行われ基準値を満たしていることが確認できる。 気象条件に適した材料、合材の運搬・保管、舗設・敷設作業等に配慮がされていることが確認できる。 透水性が認められることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 上記以外の項目（ ）				

工事成績採点の検査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目に1を入れる。

（土木・検査員用）

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																					
3. 出来形及び出来ばえ	造成等 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）																											
		該当	評価	「評価対象項目」																									
				【その他】																									
				気象条件に合わせた施工がなされ、温度管理等も適切に行われていることが確認できる。																									
				仕様書に定められている品質管理がなされていることが確認できる。																									
				資材類の保守管理が適切に行われていることが確認できる。																									
				製品・材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。																									
				上記以外の項目（)																									
				上記以外の項目（)																									
				クラックがある場合進行性または有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。																									
				上記該当があればc評価とする。																									
				【品質関係の試験結果のばらつき】																									
				ばらつきが50%以内																									
				ばらつきが80%以内																									
		ばらつきが80%を越える																											
				判断基準																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				ばらつきで判断可能			50%以内	80%以内	80%越える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能																												
	50%以内	80%以内	80%越える																										
90%以上	a	a'	b																										
75%以上90%未満	a'	b	b'																										
60%以上75%未満	b	b'	c																										
60%未満	b'	c	c																										
		評価率		評価率																									
		評定		評価率																									
		点数		評価率																									
				評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。																									

ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ 品質	農地造成等工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）					評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	
		該当	評価	「評価対象項目」						品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				【面関係】						
				伐根排根、除レキで付着土を脱落させていることが確認できる。						
				石レキ除去でレキの堆積場所について、ほ場の堆積位置計画図を作成し監督員の承諾を受けて施工していることが確認できる。						
				排レキの堆積に当たりレキ以外の排除物と区分し排除レキ量が計測しやすいようにしていることが確認できる。						
				石レキ除去後の跡地は、平らに均されていることが確認できる。						
				表土厚の事前調査が適切に行われていることが確認できる。						
				表土はぎ取りは、雑物、石レキ、不良土が混入していないことが確認できる。						
				降雨後など、ほ場の泥浄化を助長するような機械作業を行っていないことが確認できる。						
				表土の基盤への混入や逸散、集積した表土の流亡がないことが確認できる。						
				基盤の盛り立ては、適切に行っていることが確認できる。						
				雨水による崩落防止の排水対策が行われていることが確認できる。						
				耕起、砕土は適切な水分状態で施工していることが確認できる。						
				土壌改良資材は、種子が変質しないように保管されていることが確認できる。						
				ほ場毎に資材の使用量が分かりやすく整理されていることが確認できる。						
				土壌改良材を二種類以上同時に散布する場合に、層状に相互に積み込みを行い施工していることが確認できる。						
				播種は強風、降雨、干天をさけて施工されていることが確認できる。						
				播種は発芽の良好な時期に行っていることが確認できる。						
				鎮圧は機械器具に良好な耕土が付着する状態をさけて施工されていることが確認できる。						
		鎮圧は、播種後速やかに施工されていることが確認できる。								
		心土破碎は施工前に、ほ場ごとに牽引方向の計画を立てていることが確認できる。								
		心土破碎は良好な時期を選んで作業していることが確認できる。								
		心土破碎の牽引方向は施工計画どおり施工されていることが確認できる。								
		【バドック】								
		バドックは路床の品質管理を適切に行っていることが確認できる。								
		バドックは路盤の品質管理を適切に行っていることが確認できる。								
		バドックは凍上抑制層の品質管理を適切に行っていることが確認できる。								
		バドックは表層の品質管理を適切に行っていることが確認できる。								
		【障害物】								
		隔障物の本柱にキズ、塗装に損傷がないことが確認できる。								
		隔障物の本柱の打ち込みは、緩衝材を用いて施工していることが確認できる。								
		【共通】								
		使用資材の品質規格証明書が整理されていることが確認できる。								
		仕様書に定められている品質管理がされていることが確認できる。								
		気象条件に合わせた適切な施工がされていることが確認できる。								
		上記以外の項目（)								
		上記以外の項目（)								
		クラックがある場合進行性または有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。								
		上記該当があれば c 評価とする。								
		【品質関係の試験結果のばらつき】								
		ばらつきが50%以内								
		ばらつきが80%以内								
		ばらつきが80%を越える								
		評価率								
		評定								
		点数								
		評価対象項目が2項目以下の場合は c 評価とする。								

評価率	ばらつきで判断可能		
	50%以内	80%以内	80%越える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	c
60%未満	b'	c	c

ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。		a'	b	b'	c	d	e
審査項目	工種	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価率) から判断する。(判断基準参照)					
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価率) から判断する。(判断基準参照)					
品質		該当	評価	「評価対象項目」	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				【コンクリート関係】			
				鉄筋の組み立て及び継ぎ手部が示方書、仕様書に定められている通り施工されていることが確認できる。			
				スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保していることが確認できる。			
				型枠、支保工の取り外しのコンクリート強度を適切に管理されていることが確認できる。			
				施工に先立ち配合試験を行い、コンクリートの品質向上に取り組んでいることが確認できる。			
				気象条件に適した運搬、打設、締め固めを行っていることが確認できる。			
				コンクリート打継ぎ目部処理が、仕様書等の規程に従い実施されていることが確認できる。			
				コンクリートの現場養生が仕様書の規程に従い実施されていることが確認できる。			
				特殊コンクリートの施工に当たって、施工条件を遵守し良好に実施していることが確認できる。			
				プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。			
				緊張及びグラウト管理が適切に実施されていることが確認できる。			
				装置(機器)のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。			
				プレビーム桁のプレフレクション管理が適切に管理されていることが確認できる。			
				モックン跡からの漏水がないことが確認できる。			
				構造物に影響を与えるクラックの発生がないことが確認できる。			
				上記以外の項目 ()			
				【工場製作関係】			
				鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。			
			溶接作業では、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。				
			塗装する面が乾燥状態にあることを確認できる。(重ね塗りの場合も含む)				
			素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。				
			塗料の空缶管理が写真で確実に空であることが確認できる。				
			上記以外の項目 ()				
			【架設関係】				
			ボルトの締め付け確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。				
			ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。				
			支承の据付で、コンクリート面のチッピング及びモルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついていることが確認できる。				
			上記以外の項目 ()				
			【土工、製品関係】				
			掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。				
			締め固めを適切な施工条件で行っていることが確認できる。				
			土質にあった締め固め密度管理を行っていることが確認できる。				
			法面・段切りが適切に行われ有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。				
			構造物周辺の締め固めなどの処理が適正に行われていることが確認できる。				
			施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。				
			関連構造物周辺の処理が適切に行われていることが確認できる。				
			設計図書等に定められた土留め方法や水替え等が適切に行われていることが確認できる。				
			植生材料が凹凸なく施工され密着されていることが確認できる。				
			植生材料に枯損がなく、健全で養生がされていることが確認できる。				
			製品等に損傷がないことが確認できる。				
			製品等の組み合わせ、接合等が適切に行われていることが確認できる。				
			直線部、端部、曲線部の処理、強度等が適切に行われていることが確認できる。				
			目地処理や水抜き等が適切に行われていることが確認できる。				
			シート等が所定の重ね幅があり、端部処理も適切に施工されていることが確認できる。				
			連結が適切で裏込め材の吸い出しの恐れがないことが確認できる。				
			裏込め材、胴込め材の充填、締め固め等が十分に空隙が生じていないことが確認できる。				
			照明関係の動作試験が行われ正常に作動していることが確認できる。				
			照明の配置、接続等が適切で、仕上がりも良いことが確認できる。				
			上記以外の項目 ()				

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ 品質 塗装・標識・区画線等工事		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）						評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
		該当	評価	「評価対象項目」 【塗装関係】 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。 塗膜に有害な付着物が無いことが確認できる。 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。 新設の素地調整の時、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を行っていることが確認できる。 塗り残し、気泡、むら、たれ、はげ目等の欠陥がないことが確認できる。 気温、湿度の条件が共通仕様書の制限を満足していることが確認できる。 塗料を使用前に攪拌し、容器の底に顔料が沈殿しないようにしてから使用していることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 【区画線、標識、防護欄関係】 道路標識ハンドブック、視線誘導標設置基準等の規程に従い適切に施工し規格値を満足していることが確認できる。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 防護欄設置要綱等の規程に従い適切に施工し規格値を満足していることが確認できる。 部品、材料等の品質、規格、形状の適切性の確認ができる。 上記以外の項目（ ） 【グルーピング関係】 施工に関わる清掃が適切に行われていることが確認できる。 幅、深さ、間隔等が設計図書等の規程に従い適切に施工し規格値を満足していることが確認できる。 使用する水に、油類、酸、塩類等の有害物質を含んでいないことが確認できる。 灯器等とのクリアランスが保たれて施工されていることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 【照明関係】 機器の取り付け、配線等の接続、仕上がりが良いことが確認できる。 動作試験が行われ、正常に機能していることが確認できる。 基礎、地中配線等の深さ、間隔、配置も適切に行われていることが確認できる。 盤内機器等の性能検査表が整備され、関係基準に基づいて各種試験が行われていることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 【その他】 裏込め、埋め戻し材が適切で締め固めも十分で空隙が生じていないことが確認できる。 仕様書等で定められている品質管理をしていることが確認できる。 材料、製品等の品質証明書が整備されていることが確認できる。 気象条件に合わせた施工がなされ、温度管理等も適切に行われていることが確認できる。 資材等の保守管理が適切に行われていることが確認できる。 上記以外の項目（ ） 上記以外の項目（ ） クラックがある場合進行性または有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。 上記該当があればc評価とする。 【品質関係の試験結果のばらつき】 ばらつきが50%以内 ばらつきが80%以内 ばらつきが80%を越える																															
		評価率		評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。																															
		評定																																	
		点数																																	
				判断基準																															
				<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価率</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価率	ばらつきで判断可能			50%以内	80%以内	80%を越える	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c			
		評価率	ばらつきで判断可能																																
			50%以内	80%以内	80%を越える																														
		90%以上	a	a'	b																														
		75%以上90%未満	a'	b	b'																														
		60%以上75%未満	b	b'	c																														
		60%未満	b'	c	c																														
		ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。																																	

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）								
品質	道路改良・法面・林道工事	該当	評価	「評価対象項目」 【土工・路盤工関係】 施工基面が平滑に仕上げていることが確認できる。 雨水による崩壊に対し、法頭や法尻の排水路、法面のシート掛け等の排水対策を実施していることが確認できる。 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 伐開、除根作業は、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 締め固めを適切な施工条件で施工していることが確認できる。 構造物周辺の締め固めを適正に行っていることが確認できる。 土羽土の土質やCBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 法面に有害な亀裂がないことが確認できる。 路床及び路盤工のブルフローリングを行っていることが確認できる。 路床及び路盤工（凍上抑制層）の適正な密度管理が行われていることが確認できる。 路盤の安定処理は材料が均一になるように施工していることが確認できる。 路盤工は、路床面、下層路盤の浮石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 コンクリート、アスファルト乳剤の使用量管理や施工管理が仕様を満足していることが確認できる。 上記以外の項目（ ）			評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				【緑化工関係】 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 ネットなどに破損がないことが確認できる。 生芝は枯損がなく良好なことが確認できる。 張り芝材料が施工面に凹凸がなく密着していることが確認できる。 上記以外の項目（ ）						
				【その他構造物（管渠、ブロック、鋼製枠、籠、木製等）工関係】 二次製品等は、規格寸法設計図書通りで欠損等がないことが確認できる。 木製材料は、有害な腐れ、割れ、曲がり等の欠陥がないことが確認できる。 基礎材、裏込め材料及び胴込めコンクリートの締め固めが十分に行われていることが確認できる。 端部や曲線部の処理が適切で、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 シート等が所定の幅で重ね合わせられ、端部処理は仕様書を満足していることが確認できる。 上記以外の項目（ ）						
				【コンクリート工関係】 配合試験が行われ、規格（強度・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応等）が確認できる。 打設時に必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる。 コンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が適切に行われていることが確認できる。 コウクリート打設、バイブレーター、現場養生が適切に行われていることが確認できる。 型枠及び支保工の取り外しのコンクリート強度が適切に管理されていることが確認できる。 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 鉄筋の組み立てや加工は仕様書を満足し、圧接作業の作業員の資格確認を行っていることが確認できる。 上記以外の項目（ ）						

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。										
審査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	舗装・改良・RH工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）					評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、工事監督員が文書で改善指示を行い改善された。	評価	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		該当	評価	「評価対象項目」 【土工、植栽等関係】 施工基面が平滑に仕上がっていることが確認できる。 掘削に際して、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 掘削に際して、地形、地質、状況に応じて安全な施工がされていることが確認できる。 締めを適切な施工条件で施工していることが確認できる。 土質にあった締め密度管理を行っていることが確認できる。 土留め等が適切に行われ、周辺地盤への影響がないことが確認できる。 法面に有害なクラックや損傷部がないことが確認できる。 段切りなどが施工前に適切に行われていることが確認できる。 構造物周辺の締め等の処理が適正に行われていることが確認できる。 既設構造物や舗装面等に損傷のあとがないことが確認できる。 植生材料が施工面に凹凸なく施工され密着されていることが確認できる。 植栽用客土は土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施していることが確認できる。 植栽、余剰枝の剪定、整姿その他必要な手入れがされていることが確認できる。 植栽、植生等の材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 植栽、植生の材料に枯れ損傷がなく、健全で活着管理がされていることが確認できる。 【照明、標識、区画線、防護柵関係】 機器の取り付け、配線等の接続、仕上がりが良いことが確認できる。 基礎、地中配線等の深さ、間隔、配置も適切に行われていることが確認できる。 照明、配電盤類の動作試験が行われ、正常に機能していることが確認できる。 盤内機器等の性能検査表が整備され、配電盤類の関係基準に基づき各種試験が行われていることが確認できる。 材料、部品の品質及び形状が確認でき、品質証明書が整備されていることが確認できる。 ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 防護柵、標識等の材料、製品、部品の品質証明書が整備されていることが確認できる。 道路標識ハンドブック、防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準等の規程に従い適切に施工され、規格値を満足していることが確認できる。 裏込め、埋め戻し材も適切で締め固めも十分で、空隙が生じていないことが確認できる。 上記以外の項目（ ） 【コンクリート、構造物等関係】 供試体が当該現場の供試体であることを確認できる。 コンクリートの配合試験が行われ、規格（強度、スランプ等）確認できる。 打設時に必要な供試体を採取し、空気量、スランプ等が確認できる。 コンクリート打設、バイブレーター、現場養生が適切に行われていることが確認できる。 型枠、支保工の取り外しのコンクリート強度を適切に管理されていることが確認できる。 鉄筋の組み立て、加工、溶接等が適切であることを確認できる。 鉄筋引張強度・曲げ強度が試験地値で確認できる。 スペースの材質が適正で、配置もよく鉄筋の破りを確保していることが確認できる。 コンクリート打設まで、鉄筋の保管管理の適正が確認できる。 製品、部材に損傷がないことが確認できる。 製品のかみ合わせも適切で、関係構造物等との取り合いも良いことが確認できる。 敷きモルタル、敷き砂等も適正に行われていることが確認できる。 目地モルタルなどの接合材も適切に行われていることが確認できる。 連結部の止水シール、リング等が適切に使用され、仕上がりも良いことが確認できる。 マンホール等と接合される管などは、屈曲、沈下、ズレが生じていないことが確認できる。 マンホール等の位置、方向等が適正で、蓋類にガタツキもなく、仕上がりも良いことが確認できる。 構造物に土砂、モルタル、アスファルト、材料等の断片がなく清掃されていることが確認できる。 製品、材料等の品質証明書が整備されていることが確認できる。 裏込め、埋め戻し材も適切で締め固めも良く、空隙を生じていないことが確認できる。						

【記入方法】 該当する項目に1を入れる。		a'	b	b'	c	d	e																												
考査項目	工種																																		
3. 出来形及び出来ばえ 品質	舗装・改良・RH 工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価率）から判断する。（判断基準参照）																																	
		該当	評価	「評価対象項目」																															
				【路床、路盤、舗装関係】																															
				路床の施工に先立ち、土質、湧水等の現地状況を適切に調査していることが確認できる。																															
				路床・路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。																															
				路床の密度、支持力の管理が適切に行われていることが確認できる。																															
				歩道路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。																															
				凍上抑制層の密度管理が適切に行われていることが確認できる。																															
				下層路盤工の密度管理が適切に行われていることが確認できる。																															
				混合物の温度管理が、出荷地、舗設時等で整理・記録していることが確認できる。																															
				混合物の温度管理が現場到着時も行われ整理・記録していることが確認できる。																															
				混合物の配合設計、試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。																															
				着色舗装等の材料、配合が適切に行われていることが確認できる。																															
				プライムコートが適切に行われていることが確認できる。																															
				養生砂が均等に散布され、清掃も適切に行われていることが確認できる。																															
				タックコートが適切に行われていることが確認できる。																															
				舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらして行っていることが確認できる。																															
				舗装後、直ちに供用する必要のある現場では、適切に交通開放を行っていることが確認できる。																															
				平板ブロック等の組み合わせもよく、目地材・間隔も適正におこなわれていることが確認できる。																															
				敷きモルタル・敷き砂が適正に行われていることが確認できる。																															
		吸い出しシート類も適正に行われ、重ね合わせも規格を満たしていることが確認できる。																																	
		目地の処理が仕様書で定められた通りであることを確認できる。																																	
		気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われていることが確認できる。																																	
		【ロードヒーティングなど関係】																																	
		材料・部品の品質・形状の適切性が確認でき証明書が確認できる。																																	
		機械単体品の品質・形状の適切性が確認でき証明書が確認できる。																																	
		設備の機能の適切性が確認でき証明書が確認できる。																																	
		盤内機器の取付・配線の仕上がりが良好であることが確認できる。																																	
		配電盤類の動作試験は正常に機能していることが確認できる。																																	
		シーケンスに従い正常に作動したことが確認できる。																																	
		盤内機器等の性能検査表が確認できる。																																	
		配電盤類は関係諸基準に基づき各種試験がおこなわれていることが確認できる。																																	
		電線類の接続部が適切に処理されていることが確認できる。																																	
		ビット内の電線類は「行き先札」が付き整然と配置されていることが確認できる。																																	
		地中電線路等は適切な深さ・間隔で配置されていることが確認できる。																																	
		設置工事は適切な深さと関係諸基準に基づき配置されていることが確認できる。																																	
		【その他】																																	
		気象条件に合わせた施工がなされ、温度管理等も適切に行われていることが確認できる。																																	
		仕様書に定められている品質管理が行われていることが確認できる。																																	
		資材等の保守管理が適切に行われていることが確認できる。																																	
		上記以外の項目（)																																	
		上記以外の項目（)																																	
		クラックがある場合進行性または有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。																																	
		上記該当があればc評価とする。																																	
		【品質関係の試験結果のばらつき】																																	
		ばらつきが50%以内																																	
		ばらつきが80%以内																																	
		ばらつきが80%を超える																																	
		評価率																																	
		評 定																																	
		点 数																																	
		評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。																																	
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">判断基準</th> </tr> <tr> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以内</th> <th>80%以内</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">評価率</th> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						判断基準			ばらつきで判断可能					50%以内	80%以内	80%を超える	評価率	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
		判断基準																																	
		ばらつきで判断可能																																	
		50%以内	80%以内	80%を超える																															
評価率	90%以上	a	a'	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c																															
	60%未満	b'	c	c																															

ばらつきで判断できない場合は、品質のばらつきを規格値の80%以内と見なして評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に1を入れる。

(土木・検査員用)

審査項目	工種	a		b	c	d
		優れている		やや優れている	他の事項に該当しない	劣っている
3. 出来形 及び 出来ばえ	農地造成等 工事	該 当	評 価	「評価対象項目」 ほ場の平坦性が良く、表面水が溜まる心配のある凹部がない。 ほ場隅角部の施工がきめ細やかに施工されている。 ほ場区画の通りが良い。 層厚調整の切土・盛土の法面整形が良好である。 畑面には礫がほとんど見当たらない。 付帯構造物のすり付けが良い。 仮設関係を含め工事に伴う後片づけが良好である。 残土等は適切に処理されている。 きめ細やかな施工が行われている。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 全体的な美観が良い。 その他 () その他 () その他 () 該当項目の内達成項目が80%以上..... a 該当項目の内達成項目が60%～80%未満..... b 該当項目の内達成項目が40%～60%未満..... c 該当項目の内達成項目が40%未満..... d 評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする。		
		評定率				
		評 価				
		点 数				

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に 1 を入れる。

(土木・検査員用)

考査項目	工 種	a		b	c	d	
3. 出来形 及び 出来ばえ	水道工事	優れている		やや優れている	他の事項に該当しない	劣っている	
		該 当	評 価	<p>「評価対象項目」</p> <p>配管の布設位置も適切で、通りが良い。</p> <p>配管の接続、接合、支持が良い。</p> <p>既設管との取り合いや配管状況、接合が良い。</p> <p>弁きょう類のズレがなく鉛直に立ち上げられている。</p> <p>構造物等のズレもなく、組み合わせも良い。</p> <p>すりつけ、目地等の仕上がりも良い。</p> <p>埋め戻しの状態が良い。</p> <p>路床、路盤の仕上がりが良い。</p> <p>舗装等の平坦性、仕上がりも良く、既設路面とのすりつけも良い。</p> <p>縁石、止石、柵、標識等が適正に行われ仕上がりも良く、既設物とのすりあわせも良い。</p> <p>植生材料が凹凸無く施工され、活着状況、復旧状態が良い。</p> <p>残土等は適切に処理されている。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>その他 ()</p> <p>該当項目の内達成項目が 8 0 % 以上..... a</p> <p>該当項目の内達成項目が 6 0 % ~ 8 0 % 未満..... b</p> <p>該当項目の内達成項目が 4 0 % ~ 6 0 % 未満..... c</p> <p>該当項目の内達成項目が 4 0 % 未満..... d</p> <p>評価対象項目が 2 項目以下の場合は c 評価とする。</p>			
		評 価					
		点 数					

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目に 1 を入れる。

(土木・検査員用)

考査項目	工 種	a		b	c	d	
3 . 出来形 及び 出来ばえ	下水道工事	優れている		やや優れている	他の事項に該当しない	劣っている	
		該 当	評 価	「 評価対象項目 」 管渠の布設位置も適切で、通りが良い。 管渠の接続、接合、支持が良い。 既設管との取り合いや接合が良い。 マンホール・汚水柵等のズレがなく鉛直に立ち上げられている。 構造物等のズレもなく、組み合わせも良い。 すりつけ、目地等の仕上がりも良い。 埋め戻しの状態が良い。 路床、路盤の仕上がりが良い。 舗装等の平坦性、仕上がりも良く、既設路面とのすりつけも良い。 縁石、止石、柵、標識等が適正に行われ仕上がりも良く、既設物とのすりあわせも良い。 植生材料が凹凸無く施工され、活着状況、復旧状態が良い。 残土等は適切に処理されている。 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。 きめ細やかな施工がなされている。 全体的な美観が良い。 その他 ()			
		/		該当項目の内達成項目が 8 0 % 以上..... a 該当項目の内達成項目が 6 0 % ~ 8 0 % 未満..... b 該当項目の内達成項目が 4 0 % ~ 6 0 % 未満..... c 該当項目の内達成項目が 4 0 % 未満..... d			
		評定率		評価対象項目が 2 項目以下の場合は c 評価とする。			
		評 価					
		点 数					